

付属資料：調査票

令和6年度 県民意識調査

令和6年5月

◇ 調査の目的

この調査は、令和4年度からの4年間に、県が取り組むべき政策等を取りまとめた県政運営の指針である「～大変革の時代～ 新秋田元気創造プラン」に関する取組について、県民の皆様の満足度やご意見等を伺い、各種政策の立案等に反映させることを目的としています。

◇ 回答に当たってのお願い

- ・この調査には、宛名のご本人がお答えください。
※ご本人が何らかの事情により回答できない場合、代理の方の回答や連絡は不要ですので、封筒及び調査票は破棄していただいて構いません。
- ・回答を一つだけ選ぶ質問と、複数選ぶ質問があります。

6月3日（月）までにご回答をお願いします。

インターネットで回答



※インターネット回答の場合は、調査票の返送は不要です。
電子回答IDは「県民意識調査への御協力のお願い」文書の左下に記載しています。

アクセスはこちらから

「秋田県 電子申請・届出サービス」

https://apply.e-tumo.jp/pref-akita-u/offer/offerList_initDisplay.action

紙の調査票で回答

調査票に回答を記入し、三つ折りにして同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、投函してください。

なお、返信用封筒に住所、氏名等の記入は不要です。

※返信用封筒の宛先は、秋田県が調査を委託した「株式会社フィデア情報総研」となっております。

◇ 調査票の取扱い

- ・調査結果は全て統計的に処理しますので、回答内容について個人が特定されることはありません。電子回答IDは、重複回答を防止するために付しているものであり、回答者個人を特定する趣旨のものではありません。



©2015 秋田県んだっち

【問い合わせ先】

〒010-8570 秋田市山王四丁目1番1号

秋田県企画振興部 総合政策課 計画・評価チーム

電話:018(860)1217(直通)

F A X:018(860)3873

メール:seisaku@pref.akita.lg.jp

問1 県では、『～大変革の時代～ 新秋田元気創造プラン』に基づき、様々な取組を進めています
が、次の項目について、あなたはどの程度満足していますか。

ご自身の実感に近いものを「5」（十分）～「1」（不十分）の5段階から選んでお答えください。
「わからない」場合は「N」を選んでください。

また、よろしければ、選んだ理由についてお聞かせください。

回答例	生産性が向上するなど、県内産業の競争力の強化が図られている。	5	4	3	2	1	N
	[理由] (任意)						

●●は～～となっているが、△△と感じており、■■■と思うから。

以下、回答の記入をお願いします。

あなたの満足度(1つ選び番号に○をしてください)

産業・雇用戦略に関する項目		十分	十分 おおむね	ふつう	やや 不十分	不十分	わからない
1	生産性が向上するなど、県内産業の競争力の強化が図られている。	5	4	3	2	1	N

[理由] (任意)

2	輸送機、新エネルギー、情報、医療分野等の成長産業への参入が進んでいる。	5	4	3	2	1	N
---	-------------------------------------	---	---	---	---	---	---

[理由] (任意)

3	地域経済・社会を支える地域産業の活性化が図られている。	5	4	3	2	1	N
---	-----------------------------	---	---	---	---	---	---

[理由] (任意)

4	立地環境が整備され、企業誘致が進んでいる。	5	4	3	2	1	N
---	-----------------------	---	---	---	---	---	---

[理由] (任意)

産業の振興に関する取組の状況

1 産業構造の変化に対応した

県内産業の競争力の強化

- ・新分野進出、規模拡大による生産性及び賃金水準の向上や事業継続を図るため、中小企業のM&Aや事業承継(第三者承継)などを促進
- ・DX(デジタル・トランスフォーメーション)の推進に向けて、IoTやAI等のデジタル技術の普及啓発を行うとともに、その導入を促進
- ・地域経済を牽引するリーディングカンパニー創出に向けて企業の取組を支援
- ・企業の海外展開に向けた活動経費を支援
- ・県技術専門学校などにおける職業訓練の実施などにより、在職者の学び直しを支援

◎M&A成約企業数

24件(R2) ⇒ 37件(R4)

◎技術専門学校における 在職者訓練の受講者数

489人(R2)
⇒ 558人(R4)



生産工程のスマート化に向けた研究開発

3 歴史と風土に培われた地域産業の活性化

- ・伝統的工芸品の販路開拓、新商品開発、原材料の確保等の取組を支援
- ・商業・サービス業者等の業態転換、新分野進出、新商品・新サービスの開発等の取組を支援
- ・建設産業の持続的な発展に向け、人材確保や業界全体のイメージアップなど総合的な支援を実施
- ・リサイクル施設の整備や研究開発支援等により、リサイクル産業の創出・育成を促進

◎商業事業者の販売額

3,453億円(R2)
⇒ 3,548億円(R4)

◎ICT活用工事の実施件数

28件(R2) ⇒ 43件(R4)



秋田県中小企業
応援キャラクター
「がんばんっけさん」

2 地域資源を生かした成長産業の発展

- ・輸送機産業の電動化に対応するため、人材開発や研究開発、設備導入等を支援
- ・本県の多様で豊富な再生可能エネルギーのポテンシャルを生かし、新エネルギー関連産業への県内企業の参入等を促進
- ・県内情報関連産業を牽引する企業の創出に向け、県内ICT企業の成長戦略に基づく取組を支援
- ・医療機関のニーズに沿った新製品の開発や医療福祉関連産業への県内企業の参入を促進

◎輸送用機械器具製造業の製造品出荷額

1,212億円(R2) ⇒ 1,472億円(R4)

◎風力発電設備の導入量(累積)

648,549kW(R2) ⇒ 801,139kW(R5)



提供:秋田洋上風力発電(株)
能代港洋上風力発電所(能代市)

4 産業振興を支える投資の拡大

- ・積極的な誘致活動等により、成長産業の企業や若者定着の受け皿として期待される企業を誘致
- ・洋上風力発電の拠点の形成に向けたふ頭用地等の整備を推進

◎企業の誘致件数及び誘致済企業等による施設・設備の拡充件数

25件(R2) ⇒ 32件(R4)

◎洋上風力発電における港湾の利用件数(累積)

2件(R2) ⇒ 2件(R5)



大手製材会社進出の能代工業団地

あなたの満足度(1つ選び番号に○をしてください)

農林水産戦略に関する項目		十分	十分 おおむね	ふつう	不十分 やや	不十分	わからない
5	経営力の高い担い手等が活躍し、我が国の食料供給に貢献している。	5	4	3	2	1	N

[理由](任意)

()

6	「伐って・使って・植える」という森林資源の循環利用が進み、林業・木材産業が発展している。	5	4	3	2	1	N
---	--	---	---	---	---	---	---

[理由](任意)

()

7	蓄養殖や水産物のオンライン販売など、水産業での新たな取組が進んでいる。	5	4	3	2	1	N
---	-------------------------------------	---	---	---	---	---	---

[理由](任意)

()

8	農家民宿や農家レストランなど地域資源を生かした多様な農村ビジネスが増え、農山漁村が活性化している。	5	4	3	2	1	N
---	---	---	---	---	---	---	---

[理由](任意)

()

農林水産業の振興に関する取組の状況

5 農業の食料供給力の強化

- ・農業経営の法人化や生産規模の拡大を目指す意欲的な経営体を育成
- ・県外からの移住者や新規卒者・Uターン者など、多様なルートと幅広い年代からの新規就業者を確保・育成

◎農業法人数(認定農業者)

788 法人(R2) ⇒ 845 法人(R4)

◎新規就農者数 252 人(R2) ⇒ 271 人(R4)

- ・スマート農業の普及拡大による生産の効率化や、持続性が高い環境保全型農業、災害に強い産地づくりの取組拡大を推進
- ・水田の大区画化や排水対策を図るほ場整備を実施

◎環境保全型農業の取組面積

4,204ha(R2) ⇒ 4,485ha(R4)

◎ほ場整備面積(累積)

90,981ha(R2) ⇒ 92,504ha(R4)

- ・園芸メガ団地や大規模な畜産団地を整備
- ・「えだまめ」や「しいたけ」など、全国トップクラスとなる園芸品目の産地づくりを支援
- ・「秋田牛」や「比内地鶏」のブランド力強化に向けた取組を推進

◎メガ団地等大規模園芸拠点の整備数(累積)

41 地区(R2) ⇒ 53 地区(R5)

◎秋田牛の出荷頭数

2,844 頭(R2) ⇒ 2,972 頭(R4)

- ・「サキホコレ」のブランド確立をはじめとした秋田米の戦略的な生産・販売の推進

◎サキホコレの作付面積

80ha(R3) ⇒ 1,302ha(R5)

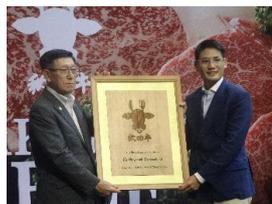
- ・国内外に通用するトップブランド農産物の創出
- ・台湾・タイへの秋田牛やリンゴの輸出を促進
- ・6次産業化による県産農産物の付加価値の向上

◎農産物の輸出額

2.9 億円(R2) ⇒ 4.3 億円(R4)



ほ場整備による
水田の大区画化



秋田牛トップセールス

6 林業・木材産業の成長産業化

- ・資源の循環利用を図るため、低コスト再造林を推進
- ・ICT を活用したスマート林業の普及などにより、低コストな素材供給体制づくりを促進
- ・住宅や非住宅建築物への県産材利用と輸出の促進

◎再造林面積

332ha(R2)
⇒ 561ha(R4)

◎素材生産量(燃料用含む)

1,425 千³m(R2)
⇒ 1,571 千³m(R4)



植栽作業

7 水産業の持続的な発展

- ・漁業体験や技術習得研修の実施による新規就業者の確保・育成
- ・トラフグ等の種苗放流やサーモン等の蓄養殖の取組を推進
- ・加工品の開発や漁師直売・オンライン販売の取組を支援

◎新規漁業就業者数(60歳未満)

10 人(R2) ⇒ 10 人(R4)

◎蓄養殖等に取り組む 漁業経営体数(累積)

17 経営体(R2)
⇒ 55 経営体(R4)



漁業体験研修

8 農山漁村の活性化

- ・農家民宿・レストランの起業や、そばなどの地域資源を生かした多様な農村ビジネス創出の取組を促進
- ・農山漁村での都市住民との交流活動や新たな兼業スタイル「半農半X」の取組を促進
- ・農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、草刈りや景観作物の植栽など地域住民による共同活動を支援

◎農村関係人口

6,518 人(R2)
⇒ 10,448 人(R4)

◎農地保全活動面積

101,908ha(R2)
⇒ 103,256ha(R4)



そば打ち体験交流

あなたの満足度(1つ選び番号に○をしてください)

観光・交流戦略に関する項目		十分	十分 おおむね	ふつう	やや 不十分	不十分	わからない
9	秋田の魅力が向上し、国内外から観光誘客が進んでいる。	5	4	3	2	1	N

[理由](任意)

()

10	食品産業が発展し、日本酒や発酵食品など、秋田の食品が盛んに流通している。	5	4	3	2	1	N
----	--------------------------------------	---	---	---	---	---	---

[理由](任意)

()

11	国内外に秋田ならではの文化の魅力が伝えられている。	5	4	3	2	1	N
----	---------------------------	---	---	---	---	---	---

[理由](任意)

()

12	スポーツを通じて地域に活力とにぎわいがもたらされている。	5	4	3	2	1	N
----	------------------------------	---	---	---	---	---	---

[理由](任意)

()

13	国内外との交流を支える高速広域交通や、日々の暮らしを支える地域交通が整備されている。	5	4	3	2	1	N
----	--	---	---	---	---	---	---

[理由](任意)

()

観光・文化・スポーツの振興に関する取組の状況

9 「何度でも訪れたいくなるあきた」の創出

- ・デジタルプロモーションや冬季観光キャンペーン、秋田の冬の観光の魅力発信により、県外からの誘客を拡大
- ・台湾からの秋田空港直行便の運航継続のほか、タイや欧州など誘客が期待できる国・地域への情報発信により、海外からの誘客を推進
- ・宿泊施設におけるデジタル技術の導入や高付加価値化など観光産業の生産性向上を促進

◎観光地点等入込客数 (延べ人数)

1,836 万人(R2)
⇒ 2,517 万 8 千人(R4)



10 「美酒・美食のあきた」の創造

- ・日本酒や発酵食品等の更なる高品質化とブランド力の強化を促進
- ・食品事業者への支援により競争力を強化
- ・商談会等の実施により、国内外への販路を拡大

◎加工食品・日本酒の 輸出金額

6 億 6,800 万円(R2)
⇒ 10 億 8,400 万円(R4) 展示会への出展(大阪)



12 活気あふれる「スポーツ立県あきた」の実現

- ・ジュニア層の強化を競技力向上の柱に据えた一貫指導体制を確立
- ・トップスポーツチームなどのスポーツコンテンツを活用した情報発信等によるスポーツツーリズムの推進
- ・スポーツ合宿やトップスポーツ大会の開催支援により交流人口を拡大
- ・新県立体育館の整備・運営を行う事業者の募集・選定手続きに着手

◎成人の週1回以上の スポーツ実施率

58.5% (R2)
⇒ 51.1% (R4)



新県立体育館(イメージ)

11 文化芸術の力による魅力ある地域の創生

- ・あきた芸術劇場ミルハスにおいて質の高い文化芸術の鑑賞機会の提供と地域のにぎわいを創出
- ・青少年音楽コンクールやあきたの文芸など県民の発表機会の提供と優れた文化活動や作品等に対する顕彰により文化芸術活動を推進
- ・次代を担う人材の育成と文化団体の活動支援
- ・地域に根ざした秋田ならではの文化の魅力発信と伝統芸能イベントや東北の祭りをモチーフとしたミュージカルの実施により交流人口を拡大

◎文化事業への来場者数

5 万 4,435 人(R2) ⇒ 27 万 7,888 人(R4)



あきた芸術劇場ミルハス開館1周年記念公演

13 国内外との交流と住民の暮らしを

支える交通ネットワークの構築

- ・日本海沿岸東北自動車道「遊佐象潟道路」、「二ツ井今泉道路」及び東北中央自動車道「横堀道路」、「真室川雄勝道路」の整備を促進
- ・重要港湾秋田港と秋田自動車道秋田北 IC を結ぶ「秋田港アクセス道路」の事業を推進

◎県内高速道路の供用率

92% (R2) ⇒ 92% (R4)

- ・羽田発着枠政策コンテストによる大館能代空港の3往復運航が実現
- ・秋田新幹線新仙岩トンネルについて、国への積極的な要望活動等を実施し、実現に向けた取組を推進
- ・市町村と連携し、JRローカル線や三セク鉄道、乗合バスの持続的な運行を確保

◎秋田県と県外間の旅客輸送人員数(自動車を除く)

136 万 8 千人(R2)
⇒ 308 万 7 千人(R4)



国内定期便(大館能代空港)

あなたの満足度(1つ選び番号に○をしてください)

未来創造・地域社会戦略に関する項目	十分	十分 おおむね	ふつう	やや 不十分	不十分	わからない
14 秋田への移住者が増加するほか、若者の県内定着・回帰が進んでいる。	5	4	3	2	1	N

[理由](任意)

{ }

15 結婚し、安心して出産・子育てができる社会になっている。	5	4	3	2	1	N
--------------------------------	---	---	---	---	---	---

[理由](任意)

{ }

16 女性や若者が様々な分野において、その能力や個性を発揮して活躍している。	5	4	3	2	1	N
--	---	---	---	---	---	---

[理由](任意)

{ }

17 優しさと多様性に満ちた秋田において、協働等を通じて安心して生活できる地域社会となっている。	5	4	3	2	1	N
--	---	---	---	---	---	---

[理由](任意)

{ }

18 地域住民、事業者、行政等と一緒に、地球温暖化対策に取り組んでいる。	5	4	3	2	1	N
--------------------------------------	---	---	---	---	---	---

[理由](任意)

{ }

19 デジタル化の推進等により充実した行政サービスが提供されている。	5	4	3	2	1	N
------------------------------------	---	---	---	---	---	---

[理由](任意)

{ }

若者の定着や地域の活力維持に関する取組の状況

14 新たな人の流れの創出

- ・高校生向けの県内企業の職場見学や企業ガイダンス、大学生等向けの合同企業説明会などの開催、学生と県内社会人が秋田で働き・暮らすこと等を語り合う交流会の開催
- ・高校生や県内外の大学生・保護者等に対する、情報誌やWebによる秋田暮らしの魅力の発信、県内就職者への奨学金返還助成の実施
- ・市町村等と連携した移住相談や、あきたまるごとAターンフェアの開催により、「暮らし」と「仕事」の情報を総合的に提供
- ・リモートワークによる移住とワーケーションを促進

◎Aターン就職者数
1,120人(R2)
⇒ 1,084人(R4)



移住・定住総合ポータルサイト
(<https://www.a-iju.jp>)

15 結婚・出産・子育ての希望がかなう

社会の実現

- ・あきた結婚支援センターの運営支援を通じて結婚を希望する独身者をサポート
- ・市町村が地域の実情やニーズに応じて行う子ども・子育て支援事業に対して支援
- ・保育料や副食費への助成など、子育て世帯への経済的支援
- ・家族向け家事・育児支援セミナー等を開催し、男性の家事・育児参画を促進

◎婚姻件数

2,686組(R2) ⇒ 2,447組(R4)

◎出生数

4,499人(R2) ⇒ 3,992人(R4)

16 女性・若者が活躍できる社会の実現

- ・女性自身の意識改革と、企業経営者の理解促進のための啓発や、女性の地域活動への参画拡大に向けた気運の醸成
- ・「あきた女性活躍・両立支援センター」による普及啓発や相談対応、一般事業主行動計画策定等の指導・助言、アドバイザー派遣等の企業支援

◎民間事業所の女性管理職割合(課長相当職以上)
19.3%(R2) ⇒ 21.1%(R4)

◎民間事業所における男性の育児休業取得率
10.7%(R2) ⇒ 17.9%(R4)

17 変革する時代に対応した地域社会の構築

- ・集落機能を維持するため、複数集落単位で地域の将来をデザインする「コミュニティ生活圏」の形成を支援
- ・地域課題の解決に向けた多様な主体との連携・協働を推進

◎社会活動・地域活動に参加した人の割合

57.3%(R2)
⇒ 60.0%(R4)



地域の将来についての検討会

18 脱炭素の実現を目指す地域社会の形成

- ・県や10市町村におけるカーボンニュートラル宣言のほか、省エネ家電購入支援、事業者省エネ診断、脱炭素経営セミナーなど、温暖化対策を推進
- ・エコフェス、学生CO2削減コンテストを開催
- ・飲食店で食べきれなかった食品の持ち帰り事業の実施
- ・廃プラスチックに係る資源循環モデルの実証試験を実施

◎温室効果ガス排出抑制計画書の目標達成事業者の割合
79.3%(R2) ⇒ 75.0%(R4)

◎廃棄物の最終処分量(公共関与分)
94千t(R2) ⇒ 98千t(R4)

19 行政サービスの向上

- ・県民の利便性向上のため、電子申請・届出サービス等を用いた行政手続のオンライン化を推進
- ・県民や企業等が二次利用しやすい形式(エクセル等)によるデータ公開を進めるため、オープンデータカタログサイトを充実

◎行政手続の電子化率

59.6%(R3) ⇒ 70.4%(R4)

◎オープンデータ化した県有データ数

87件(R2) ⇒ 187件(R4)

あなたの満足度(1つ選び番号に○をしてください)

健康・医療・福祉戦略に関する項目		十分	十分 おおむね	ふつう	やや 不十分	不十分	わからない
20	県民の健康づくりに取り組む意識が高まり、生きがいをもって元気に生活している。	5	4	3	2	1	N

[理由](任意)

()

21	どこに住んでいても、必要な医療を受けられる体制が整っている。	5	4	3	2	1	N
----	--------------------------------	---	---	---	---	---	---

[理由](任意)

()

22	高齢者や障害のある方が、必要なサービスや支援を受けながら、住み慣れた地域で安心して生活している。	5	4	3	2	1	N
----	--	---	---	---	---	---	---

[理由](任意)

()

23	相談体制や支援の充実により、地域や社会から孤立することなく、安心して生活できる社会となっている。	5	4	3	2	1	N
----	--	---	---	---	---	---	---

[理由](任意)

()

健康づくりや医療・福祉の充実に関する取組の状況

20 健康寿命日本一の実現

- ・市町村や経済団体、保健医療団体、報道機関など、多様な主体と連携した健康づくり県民運動を推進
- ・「秋田スタイル健康な食事」メニュー認証制度の普及啓発などにより、「減塩」や「野菜・果物摂取」を推進
- ・アプリを活用した企業対抗型ウォーキングイベントの開催により、運動習慣の定着化を促進
- ・秋田県版健康経営優良法人認定制度の普及による県内企業における健康経営の促進
- ・かかりつけの医師等と連携した受診勧奨などにより、健(検)診受診を促進

◎健康寿命

男性 71.21 年、女性 74.53 年 (H28)
⇒ 男性 72.61 年、女性 76.00 年 (R1)



秋田県版健康経営優良法人ロゴマーク



あきた健康応援大使とあきた健康チャレンジ大使による健康づくりに関する情報発信

22 高齢者と障害者の暮らしを支える体制の強化

- ・介護職員の処遇改善や人材育成等に積極的な事業所を県が認証する「介護サービス事業所認証評価制度」の普及を推進
- ・支援者研修会、県民公開講座の実施、民間支援団体等との意見交換会を通じたひきこもり当事者の身近な地域における相談支援体制の整備を促進

◎介護施設等の介護職員数

23,283 人 (R2) ⇒ 22,878 人 (R4)

21 安心で質の高い医療の提供

- ・がん診療連携拠点病院等を中心とした、がん診療提供体制を強化
- ・脳卒中等の急性疾患発生時に、専門医が不在の地域でも迅速で正確な診断が受けられるよう、病院間の急性期診療ネットワーク整備を支援
- ・各地域における在宅医療の提供体制を整備
- ・訪問看護ステーションによる安定的な看護サービスの提供を支援

◎脳血管疾患による人口 10 万人当たり年齢調整死亡率

34.7 (R2) ⇒ 33.0 (R4)

◎がんによる人口 10 万人当たり 75 歳未満年齢調整死亡率

76.8 (R2) ⇒ 77.3 (R4)

23 誰もが安全・安心を実感できる

地域共生社会の実現

- ・民・学・官・報の連携による自殺予防街頭キャンペーン等の普及啓発活動を推進
- ・学校でのSOSの出し方講座、教職員のSOSの受け方研修会などを実施
- ・若者を中心に多くの県民が利用しているSNSによる相談体制の強化

◎自殺による人口 10 万人当たり死亡率

18.0 (R2) ⇒ 22.6 (R4)

- ・子どもの貧困対策に取り組む支援者のネットワークを強化し、子ども食堂等の立ち上げを支援
- ・児童相談所の体制強化に継続的に取り組むほか、毎年11月の児童虐待防止推進月間に合わせた街頭キャンペーンを実施
- ・里親制度の普及啓発から、里親の育成、養育開始後のサポートまでを包括的に支援する体制を整備し、里親委託を促進

◎里親委託率

17.6% (R2)
⇒ 23.4% (R4)



秋田県里親PRキャラクター

あなたの満足度(1つ選び番号に○をしてください)

教育・人づくり戦略に関する項目		十分	十分 おおむね	ふつう	やや 不十分	不十分	わからない
24	学校教育を通じて、ふるさとを愛し、社会で活躍しようとする心が育まれている。	5	4	3	2	1	N

[理由](任意)

{ }

25	学校教育を通じて、ICTを効果的に活用しながら、自ら考え、判断し、表現する力が育まれている。	5	4	3	2	1	N
----	--	---	---	---	---	---	---

[理由](任意)

{ }

26	学校教育を通じて、外国文化を理解しようとする態度や、英語でコミュニケーションができる能力が育まれている。	5	4	3	2	1	N
----	--	---	---	---	---	---	---

[理由](任意)

{ }

27	学校教育を通じて、他人への思いやりなどの豊かな心や健やかな体が育まれている。	5	4	3	2	1	N
----	--	---	---	---	---	---	---

[理由](任意)

{ }

28	県内の大学等で、地域の活性化につながる教育・研究・地域貢献が行われている。	5	4	3	2	1	N
----	---------------------------------------	---	---	---	---	---	---

[理由](任意)

{ }

29	県民がライフステージや生活スタイルに応じて、生涯にわたり学び、文化芸術に触れる機会が提供されている。	5	4	3	2	1	N
----	--	---	---	---	---	---	---

[理由](任意)

{ }

教育・人づくりに関する取組の状況

24 秋田の将来を支える高い志にあふれる

人材の育成

- ・起業体験やボランティア活動など、地域の活性化に貢献する体験活動や地域の伝統を受け継ぐ活動を推進
- ・県立高校などに職場定着就職支援員を配置し、就職支援、県内就職の促進、職場への定着支援などの取組を実施

◎高校生の県内就職率
72.5% (R2)
⇒ 71.6% (R5)



産業教育フェアでの販売体験

25 確かな学力の育成

- ・主体的に問題発見・解決する「探究型授業」の充実を図るため、学校訪問等により授業改善を推進
- ・少人数学習によるきめ細かな教育や社会人等外部人材の活用による専門性の高い教育を展開
- ・学校と地域の協働活動を推進する人材の育成や、地域と連携した安全教育活動を展開
- ・ICT活用による質の高い学びの推進及び教職員のICT活用指導力向上を図るための研修を実施

◎学んだことを振り返って次の学習につなげることができる児童生徒の割合(小6・中3)
86.5% (R3) ⇒ 82.9% (R5)

26 グローバル社会で活躍できる人材の育成

- ・英語コミュニケーション能力の育成に向け、外国語指導助手(ALT)や外部試験を活用
- ・小学校3年生から高校3年生までを対象に県内各地でイングリッシュキャンプを開催

◎英検3級相当以上の英語力を有する中学3年生の割合
39.1% (R1) ⇒ 44.4% (R4)



イングリッシュキャンプ

27 豊かな心と健やかな体の育成

- ・スクールカウンセラー等の専門家の配置により教育相談体制を充実
- ・地域人材を活用し、授業の充実を図るとともに部活動を支援

◎自分にはよいところがあると思っている児童生徒の割合(小6・中3)
86.0% (R1)
⇒ 86.0% (R5)

◎運動やスポーツをすることが好きな児童生徒の割合(小5・中2)
65.9% (R1)
⇒ 62.9% (R5)



地域人材を活用した体育授業

28 地域社会の活性化と産業振興に資する高等教育機関の機能の強化

- ・各大学等の多様な資源を活用し、地域社会や産業の課題解決に向けた取組を推進
- ・高校教育と大学教育の連携など学生の確保に向けた多様な取組を推進

◎県内高等教育機関による県内企業等との共同研究・受託研究・受託事業数
144件 (R2) ⇒ 160件 (R4)

◎県内高卒者の県内大学・短大・専修学校等への進学率
33.7% (R2) ⇒ 33.0% (R4)

29 生涯にわたり学び続けられる環境の構築

- ・県民の生涯学習に取り組む機会の確保や読書活動の充実に向けた支援
- ・本県の優れた文化芸術を発信し、鑑賞・創作体験等の機会を提供
- ・地域の歴史・文化を生かしたまちづくりに向け、文化財の総合的な保存・活用の方針などを示した「秋田県文化財保存活用大綱」を策定

◎県立美術館・近代美術館・県立博物館・農業科学館の利用者
169,596人 (R2)
⇒ 265,290人 (R4)



中高生を対象とした読書イベント

問2 県では、人口減少問題を克服し、多くの人を惹きつける秋田の実現に向け取り組んでいます
が、次の項目について、あなたはどの程度満足していますか。

ご自身の実感に近いものを「5」（十分）～「1」（不十分）の5段階から選んでお答えください。
「わからない」場合は「N」を選んでください。

あなたの満足度（1つ選び番号に○をしてください）

		十分	十分 おおむね	ふつう	やや 不十分	不十分	わからない
1	県内の「賃金水準が向上」している。	5	4	3	2	1	N
2	「カーボンニュートラル（※）」の実現に向けた取組が進んでいる。 ※二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出を減らし、「排出量」から、森林などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすること。	5	4	3	2	1	N
3	県民生活の様々な場面において、「デジタル化」が進んでいる。	5	4	3	2	1	N
4	「若者・女性の県内定着・回帰」が進んでいる。	5	4	3	2	1	N
5	「働く場の確保」や「労働環境の整備」など、魅力的な職場づくりが行われている。	5	4	3	2	1	N

問3 県の重要課題について、お伺いします。

今後の県政を推進していく上で、あなたが重要課題として県に力を入れてほしいことは何ですか。下から5つまで選択して番号を記入してください。

--	--	--	--	--

◆産業の振興

- | | |
|----------------------------------|----------------------------------|
| 1 経営規模拡大や賃上げの取組への支援 | 26 若者のチャレンジへの支援 |
| 2 県内企業のデジタル技術の活用促進 | 27 多様性が認められ、安心して生活できる地域コミュニティの維持 |
| 3 地域経済をけん引する企業の創出・育成 | 28 温暖化防止活動やリサイクル等の推進 |
| 4 柔軟な働き方の導入や学び直しの支援による人材確保・育成 | 29 充実した行政サービスを提供できる効率的な行政運営 |
| 5 輸送機・新エネルギー・情報・医療分野等の成長分野への参入促進 | |
| 6 地域に根付く産業の振興 | |
| 7 企業誘致などの企業立地等の促進 | |

◆農林水産業の振興

- | | |
|--------------------------------|----------------------------|
| 8 農林水産業の多様な担い手の確保 | ◆健康づくりや医療・福祉の充実 |
| 9 スマート農業や環境保全型農業の普及と水田の大区画化の推進 | 30 健康寿命の延伸に向けた取組の推進 |
| 10 野菜や果樹、花き、畜産物等の生産拡大 | 31 医療提供体制の整備 |
| 11 サキホコレのブランド確立をはじめとした戦略的な米生産 | 32 介護・福祉サービスの充実 |
| 12 農産物のブランド化と流通・販売体制の整備 | 33 自殺予防対策の推進 |
| 13 再造林の促進と林業・木材産業の振興 | 34 貧困や虐待等、複雑な事情を抱える子どもへの支援 |
| 14 安定的な漁業生産による水産業の発展 | 35 引きこもり状態にある人への支援 |
| 15 農山漁村での交流活動による活力向上 | |

◆観光・文化・スポーツの振興

- | | |
|------------------------------|-------------------------|
| 16 国内外からの観光誘客の強化 | ◆教育・人づくり |
| 17 オリジナル商品の開発や販路拡大による食品産業の振興 | 36 ふるさと教育やキャリア教育の充実 |
| 18 文化芸術の担い手の確保と文化による振興 | 37 デジタル社会等に対応した専門教育の充実 |
| 19 スポーツの振興による地域の活力向上 | 38 学力向上に向けた取組の充実 |
| 20 鉄道や航空・地域交通などの整備 | 39 教員の指導力や学校施設など教育環境の整備 |
| 21 道路ネットワークの整備 | 40 英語教育と国際教育の充実 |

◆若者の定着や地域の活力維持

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 22 若者の移住促進や関係人口の拡大 | ◆安全・安心な生活環境の確保 |
| 23 高校生や大学生の県内就職の促進 | 44 災害リスクに対する防災・減災対策の推進 |
| 24 結婚、出産、子育てのしやすい環境の整備 | 45 地域防災活動の充実 |
| 25 女性の活躍推進や男女共同参画の推進 | 46 犯罪や交通事故の少ない地域づくり |
| | 47 食品や水道などの安全・安心の確保 |
| | 48 動物愛護活動の推進 |
| | 49 快適で安らげる生活基盤の整備 |
| | 50 自然環境保全対策の推進 |

差別等について

① あなたは、ご自身や身の回りで差別等を感じることはありますか(○は1つ)。

- | | |
|---------------|----------------|
| 1 よく感じることもある | 2 たまに感じることもある |
| 3 あまり感じることはない | 4 まったく感じることはない |

② ①で「1」～「3」を選んだ方にお聞きします。どのような差別等を感じることはありますか(○はいくつでも)。

- | | |
|---------------------------|------------------|
| 1 性別を理由とするもの | 2 障害を理由とするもの |
| 3 感染症の患者及び医療・介護従事者等に対するもの | 4 がん等の疾病を理由とするもの |
| 5 性的指向、性自認等を理由とするもの | 6 外国人に対するもの |
| 7 年齢を理由とするもの | 8 犯罪被害者等に対するもの |
| 9 犯罪をした人等に対するもの | 10 ハラスメント |
| 11 いじめ | 12 その他() |

男女共同参画について

① 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはこれについてどう思いますか(○は1つ)。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 賛成 | 2 どちらかといえば賛成 |
| 3 どちらかといえば反対 | 4 反対 |
| 5 わからない | |

社会活動・地域活動について

① あなたが、ここ1年間に仕事以外の何らかの「社会活動・地域活動」(※)に取り組んだ頻度で、もっとも当てはまるものはどれですか(○は1つ)。

※「社会活動・地域活動」の具体例

地域の公園の花壇の手入れ、町内一斉清掃への参加、河川のごみ拾い、子育て支援、子ども会活動、まちづくりフェスティバル、祭り・伝統芸能の担い手、高齢者宅の除雪の手伝い 等

- | | |
|-------------------|---------|
| 1 週5日以上 | 2 週1日程度 |
| 3 月1日程度 | 4 年1日程度 |
| 5 特定の期間(夏の間2週間など) | |
| 6 その他(具体的に) | |
| 7 取り組んだことがない | |

文化芸術の鑑賞・活動について

- ① あなたは、ここ 1 年間に文化施設等に出向いて直接鑑賞した文化芸術はありますか(○はいくつでも)。

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1 音楽(コンサート、吹奏楽、歌謡・民謡等) | 2 美術(絵画、写真、彫刻、現代アート等) |
| 3 演劇、舞踊(ミュージカル、日本舞踊等) | 4 伝統芸能、民俗芸能(歌舞伎、盆踊り、番楽等) |
| 5 映画(映画館等で上映) | 6 その他() |
| 7 鑑賞していない | |

- ② あなたは、ここ 1 年間に芸術作品の創作、文化イベントへの出演・参加、文化事業でのボランティア活動などを行いましたか(○はいくつでも)。

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 1 芸術作品の創作・制作・実演 | 2 習いごと(音楽、舞踊、茶道等) |
| 3 地域の祭りや伝統行事への参加 | 4 文化芸術イベント等の開催・運営のための活動 |
| 5 その他() | 6 活動していない |

読書活動について

- ① あなたは読書(※)が好きですか(○は1つ)。

※読書には、新聞及び雑誌(電子媒体の記事(注1)を含む。)のほか、子どもへの読み聞かせ、オーディオブック(注2)も含まれます。

(注1) 電子媒体の記事とは、新聞社や出版社等がインターネット上に掲載しているニュースや雑誌記事等のことです。

(注2) オーディオブックとは、書籍を朗読したものを録音したCDやカセット、インターネット上で提供されている音声コンテンツのことです。

- | | |
|------------------|---------------|
| 1 好きだ | 2 どちらかといえば好きだ |
| 3 どちらかといえば好きではない | 4 好きではない |

- ② あなたは1日平均(※)どれくらい読書をしていますか(○は1つ)。

※子どもへの読み聞かせ時間も含まれます。

※休日まとめ読みの場合は、1日平均に置き換えてください。

- | | |
|-----------|---------|
| 1 2時間以上 | 2 1~2時間 |
| 3 30分~1時間 | 4 30分未満 |
| 5 全く読まない | |

環境保全活動について

① あなたは、これまで環境保全活動に参加したことがありますか(○はいくつでも)。

- | |
|---------------------------------------|
| 1 環境美化・清掃活動への参加(例:市民クリーンアップなど) |
| 2 自然保護活動への参加(例:ホテルの保護活動など) |
| 3 森林保全活動への参加(例:市民植樹など) |
| 4 リサイクル活動への参加(例:古紙・空き缶回収など) |
| 5 環境をテーマとした講演会等への参加(例:地球温暖化防止フォーラムなど) |
| 6 その他() |
| 7 参加したことがない |

食品ロス問題について

① あなたは、食品ロス(※)が社会問題となっていることを知っていますか(○は1つ)。

※食品ロスとは、本来食べられるのに捨てられる食品

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

② あなたは、食品ロスの削減に向けた取組をしていますか(○は1つ)。

※削減に向けた取組の具体例

料理を作り過ぎない、出された料理は残さず食べる、外食の際は食べきれぬ量を注文、買い物の際は賞味期限や消費期限の近い商品を購入 等

- | | |
|--------|---------|
| 1 している | 2 していない |
|--------|---------|

自転車の安全で適正な利用について

① 自転車を利用している人にお聞きします。あなたは「自転車損害賠償責任保険等(※)」に加入していますか(○は1つ)。

※自転車を運転中の事故により、他人にケガを負わせてしまった場合等に備える保険。

※自転車保険単独のもの、自動車保険・火災保険・傷害保険の特約として付いている個人賠償責任保険、共済、職場の団体保険、点検・整備を受けた自転車に貼られる「TSマーク」に付帯した保険等。

- | | |
|----------|-----------|
| 1 加入している | 2 加入していない |
| 3 わからない | |

高齢者の社会参加について

① 60歳以上の方にお聞きします。あなたは、令和5年度に仕事や社会活動等(趣味や健康づくり、生涯学習を含む。)を行いましたか(どちらかに○)。

- | | |
|-------|----------|
| 1 行った | 2 行っていない |
|-------|----------|

問6 あなたご自身について、お伺いします。

回答を統計的に分析するために、あなたご自身のことについてお聞かせください。
(当てはまる選択肢の番号1つに○をつけてください。)

① 性別

1 男性 2 女性 3 その他

② 年齢

1 18～19 歳 2 20～29 歳 3 30～39 歳 4 40～49 歳
5 50～59 歳 6 60～69 歳 7 70 歳以上

③ 18歳未満の子どもの有無

1 現在 18 歳未満の子どものを養育している 2 していない

④ ご出身

1 秋田県の出身 2 秋田県以外の出身

⑤ お住まいの地域

1 鹿角地域(鹿角市、小坂町)
2 北秋田地域(大館市、北秋田市、上小阿仁村)
3 山本地域(能代市、藤里町、三種町、八峰町)
4 秋田地域(秋田市、男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村)
5 由利地域(由利本荘市、にかほ市) 6 仙北地域(大仙市、仙北市、美郷町)
7 平鹿地域(横手市) 8 雄勝地域(湯沢市、羽後町、東成瀬村)

⑥ 主なお仕事の業種(主とする業種1つに○)

1 農業 2 林業 3 漁業 4 建設業 5 製造業 6 情報通信業 7 運輸業・郵便業
8 卸売業・小売業(観光関連) 9 卸売業・小売業(観光関連以外)
10 宿泊業 11 飲食サービス業 12 学術研究・学校教育・学習支援
13 医療・保健 14 福祉 15 公務(1～14 以外) 16 その他の業種
17 学生 18 無職

これで調査は終わりです。ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

この調査票を三つ折りにし、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、6月3日(月)までに投函してください。